

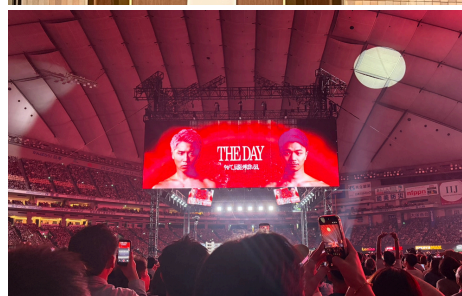


WJOG通信 vol.13

ご挨拶

皆さま、こんにちは。

いつもWJOGに多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。



GWに、先輩とボクシングを観に行ったときの写真です。最近「推し活」なんて言葉もあるようですが、みなさんの「推し」はなんですか？

今回のWJOG通信は「バスケット委員会」が編集担当です。

バスケットって何？と思われるかもしれませんが、「臓器の枠を超えて、共通する特徴を持つような病気に関わる試験」を行うようなグループになります。WJOGが臓器ごとの縦割りでグループを編成していることには当然ながら合理的な理由がありますが、臨床試験に限らず、自分たちが常識だと思っていることが少し違う環境の人たちには非常識だったり、たまにお隣の芝生が青く見えてしまったりすることもあると思います。いつもと違う人と仕事をすると、思わぬ発見があって面白いものですね。

これからもWJOGは、よりよいがん治療を提供するための取り組みを続けて参ります。変わらぬご支援を、よろしくお願い申し上げます。編集担当者より（WJOG教育広報委員/鳥取大学医学部 附属病院 呼吸器内科・膠原病内科 阪本智宏）



ASCO2026 in シカゴ —ALLBREAK試験の結果を発表してきました—

皆さま、こんにちは。京都府立医科大学消化器内科 榎田智喜です。

2026年5月29日から6月2日にかけて、アメリカ・シカゴで開催された米国臨床腫瘍学会(ASCO)年次総会に参加し、私たちが行ってきたALLBREAK試験(WJOG15221M)の結果を発表してきましたので、その報告をお届けします。

✓ ASCOとは

ASCOは、世界中のがん治療に関わる医師・研究者が集まる、腫瘍学の分野では世界最大規模の学会です。毎年5～6月にアメリカで開催され、世界中の最新の臨床試験の結果がここで報告されます。ここで発表されたデータは、その後の診療ガイドラインの改訂や新薬の承認にもつながることが多く、「世界のがん治療の方向性が決まる場」ともいわれています。

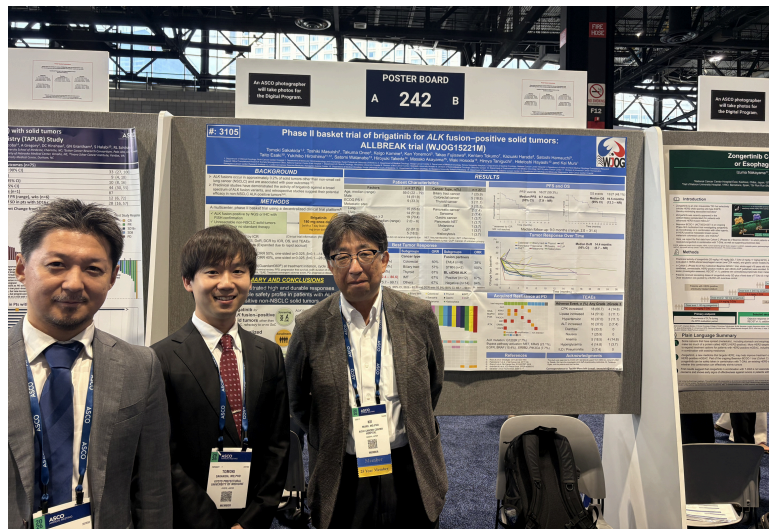
✓ ALLBREAK試験の結果について

ALLBREAK試験は、非小細胞肺癌以外の固形がんでALK融合遺伝子という珍しい遺伝子の変化を持つ患者さんを対象に、ブリグチニブというALK阻害薬の効果を調べた医師主導試験です。以前のWJOG通信(Vol.11)でもご紹介したとおり、この試験は「オンライン治験」という新しいスタイルを取り入れ、患者さんが遠方の治験実施施設に通わなくても参加できる仕組みを整えたことが大きな特徴でした。おかげさまで、28例の患者さんに、胆道がん・大腸がん・甲状腺がんなど11種類のがんにわたってご参加いただくことができました。



【研究事務局】
京都府立医科大学
消化器内科
榎田 智喜

今回ASCOでは、腫瘍が小さくなった患者さんの割合が63.0%、病気の進行が抑えられた患者さんの割合が92.6%、さらには効果が続いた期間は中央値14.4か月という結果を発表しました。あらかじめ設定していた目標(有効性の基準)を達成することができ、安全性についても、これまでの肺がんでの使用経験と比べて大きな違いは見られませんでした。0.2%程度しか存在しない稀な遺伝子変化を持つ患者さんを対象にした試験でこの結果が得られたことは、稀少がんの治療開発を進める上での大きな一歩になったと感じています。今後はこの結果をもとに、より多くの患者さんに薬をお届けできるよう、承認に向けた次のステップを目指していきます。この治験にご協力くださった患者さん一人一人に、心より感謝申し上げます。



ASCO会場にて、消化器グループ長 室圭先生(右)
バスケット委員会副委員長 舩石 俊樹先生(左)

✓ シカゴの街から

会場となったシカゴは、ミシガン湖のほとりに広がる、美しい高層建築が立ち並ぶ街でした。名物のシカゴピザは、まるでケーキのように分厚く、そのボリュームに圧倒されました。ただ物価はかなり高く、ちょっとした食事でも思わず驚くお値段で、円安の影響を実感する場面も多々ありました。

我々の取り組みが世界の研究者の関心を集めていることを実感し、大変励みになりました。今後もWJOGの活動を通じて、患者さんに新しい治療をお届けできるよう努めてまいります。



2025年度WJOG総会開催報告

2026年5月23日(土)に、2025年度の総会を開催しましたことをご報告申し上げます。本総会では、多くの先生方にご参加いただき、この1年間の活動を振り返るとともに、現在進行中の研究の報告や今後の研究計画について話し合われました。また、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)の手塚 瞬先生をお招きし、患者さんの声を臨床研究に活かすための患者選好研究(PPS)を学ぶ教育セミナーも開催されました。今後も、患者さんにより良い治療を届けるため、研究活動に取り組んでまいります。



山本 信之理事長▲



◀手塚 瞬先生

手塚先生と教育広報
委員会の先生方▼



バスケット委員会の
先生方▶



WJOG17723M FUTAB-CUP

原発不明癌に対するAB122+TAS-120の有効性を検討する第II相医師主導治験



【治験調整医師】

近畿大学病院 腫瘍内科
谷崎 潤子

原発不明癌に対する、抗PD-1抗体AB122（※①）と、FGFR阻害薬として開発が進められているTAS-120（※②）を組み合わせた併用療法の有効性と安全性を検討する第II相医師主導治験です。

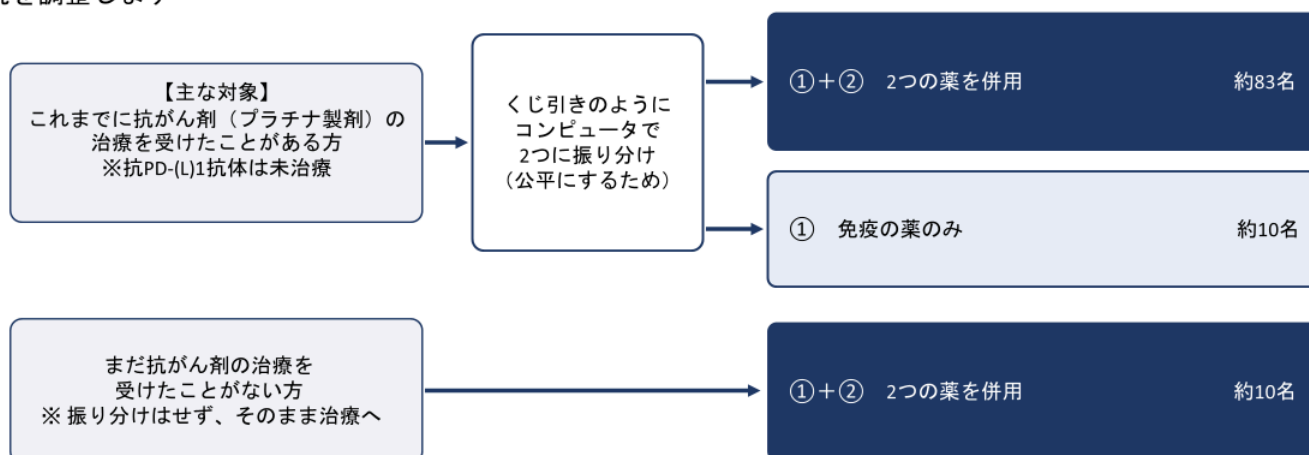
TAS-120は、もともとFGFRという遺伝子の異常を持つがんに対して開発されてきた薬剤ですが、近年の基礎研究や企業治験において、FGFR遺伝子異常の有無にかかわらず、腫瘍の周囲の免疫環境を変化させて抗PD-1抗体の効きやすい状態をつくる「免疫調整作用」を持つことが示唆されています。実際に、AB122とTAS-120の併用は、抗PD-1抗体単剤では効果が十分でなかった一部のがん種においても有望な成績が報告されており、原発不明癌でも同様に上乗せ効果が期待されます。

化学療法未治療の患者さんと、プラチナ療法を受けたあとの患者さんの両方を対象としており、登録期間は2026年4月～2029年3月で、103症例を予定しています。

本試験を通じて、これまで有効な治療選択肢の限られていた原発不明癌の患者さんに対し、AB122+TAS-120併用療法という新しい治療の可能性をお届けできることを期待しています。

原発不明癌は転移したがんは見ついているものの、最初にできた場所（原発）がわからないがんです。この治験では働きの違う2つの薬を組み合わせ、その効果と安全性を調べます。

- ① 免疫の力を引き出す薬（AB122）：自身の免疫細胞ががんを攻撃する力を高めます
- ② がんの周囲の環境を調整する薬（TAS-120／フチバチニブ）：①の薬の効果が高まるようにがんの周囲の環境を調整します



この試験の目標：2つの薬を組み合わせた治療の効果と安全性を確かめ、将来原発癌に対して治療薬として使えるようになること（承認）を目指します。

※治療の効果：がんが小さくなる人の割合を確認します。/安全性：副作用がどのくらいでるか確認します。

（用語解説）この治験で使う2つのお薬について

※① 抗PD-1抗体（AB122）：体の免疫には「がんを見つけて攻撃する力」があります。しかし、がんはその攻撃を避けるために“免疫のブレーキ”を使うことがあります。抗PD-1抗体は、このブレーキを外して、免疫ががんを攻撃しやすくするお薬です。

※② FGFR阻害薬（TAS-120）：がん細胞は、体の中で増えるための“成長スイッチ（FGFR）”を使っています。FGFR阻害薬は、このスイッチを止めて、がんが増えるのを抑えるお薬です。

ご 寄 付 の お 願 い

WJOGの事業活動を継続して行うためには相応の資金が必要となります。

WJOGの臨床試験に対しては、製薬企業等からの資金提供を受ける受託研究としての運営を積極的にすすめておりますが、さらに多くの有意義な臨床試験を行うためには、WJOGはその資金を獲得しなければなりません。

また、NPO法人としてWJOGの活動を支えているのは一般市民のみなさんからの寄附です。特に一般の方からの寄附は、そのNPO法人が社会的支持を受けている証左になりますので、NPO法人の社会的な認知と意義を評価する上で極めて重要な意味があります。

WJOGは2015年8月31日に、認定NPO法人として大阪市より認定されました。がんの臨床試験の推進、がん研究者の育成、がん治療の啓発等、WJOGの活動が公益性を有すると認められたものと考えています。引き続きWJOGの活動を多くの方に広めていただきたいと思います。

本年度もWJOGに寄附をお願いいたしたく存じます。尚、ご寄附を頂ける場合には、添付の振込用紙（振込手数料不要）をご使用ください。また、WJOGへの寄附は確定申告する際に所得税の控除が受けられます。「寄附受領書」をお送りしますので、郵便振替用紙にはっきりとご連絡先（お名前とご住所）をご記入ください。

最後に、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご 寄 付 の 方 法

個人として、ご寄附を頂ける場合には、以下のいずれかの方法にてお願いいたします。

1)郵便振替用紙を利用して寄附金を振込

口座名称：特非) 西日本がん研究機構寄附口

口座名称 (カナ)：トクビ)ニシニホンガ ンケンキュウキコウキフグチ

口座番号：00900-4-274461

※当法人にて郵便振替用紙を準備しておりますので、問い合わせ先までご連絡頂ければ、郵便振替用紙を郵送いたします。

2)銀行口座から寄附金を振込

銀行名称：ゆうちょ銀行

口座名称：特非) 西日本がん研究機構寄附口

口座名称 (カナ)：トクビ)ニシニホンガ ンケンキュウキコウキフグチ

店名 (店番)：0九九 (ゼ ロ キュウキュウ) 店 (099)

預金種別：普通

口座番号：0274461

3)クレジットカード決済で寄附をする

クレジットカード決済で寄附をされる方はQRコードよりお手続きください。

使用できるカード会社 (VISA・MASTER・JCB・AMEX・DINERS)



寄付控除について

当法人への寄附金には、認定NPO法人への寄附として税法上の優遇措置があります。個人の場合には、所得税(国税)において、寄附金控除(所得控除)又は税額控除のいずれかを選択して確定申告を行うことにより、所得税の控除を受けることができます。また、寄附された財産については相続税の課税対象から除かれます。

詳細は、「内閣府NPOホームページ」や「国税庁ホームページ」をご参照ください。

寄附金控除(所得控除)額 = 寄附金の額の合計額 - 2千円

税額控除額 = (寄附金の額の合計額 - 2千円) × 40%

注：法人の場合には、一般のNPO法人に寄附した場合の一般損金算入限度額とは別に、別枠の特別損金算入限度額が設けてられており、その範囲内であれば損金の額に算入することが認められています。

お願い：お振込み後、当法人から所得税の確定申告時に必要な寄附受領証（領収書）を送付いたしますので、郵便振替用紙ご使用の場合に郵便振替用紙にご連絡先（お名前とご住所）を必ずご記入ください。

郵便口座または銀行口座に振込の場合には、振込後に、電話、FAXまたはE-Mailにてご連絡先（お名前とご住所）を下記問合せ先までお知らせください。

ご連絡先がわからない場合には、寄附受領証（領収書）が送付できませんので、くれぐれもご注意ください。

法人として、寄附金を頂ける場合には、大変お手数ですが下記の問い合わせ先まで、ご連絡の程お願いいたします。



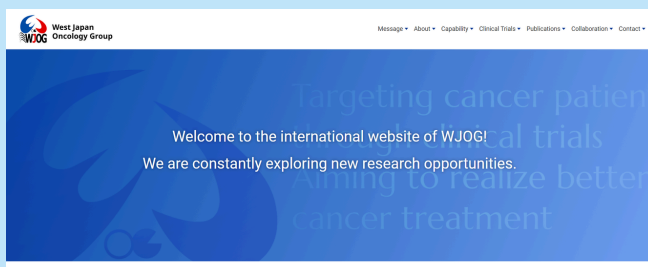
WJOG英語版ホームページ開設のお知らせ

2026年4月30日よりWJOGホームページに英語版が加わったことをご報告申し上げます。

WJOGの使命は、①臨床試験の実施、②医療従事者への教育、③一般市民への皆さまへの啓発活動でございます。この使命を遂行していくためには、日本国外の臨床試験団体や学術団体、製薬企業とも協力していく必要性が増してきております。

今回の英語版ホームページ制作では、シンプルでわかりやすく持続可能なページになるように、ホームページリニューアル委員会メンバーが一丸となって検討してまいりました。

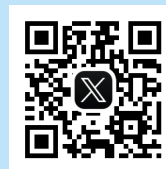
今後ともWJOG活動についてご支援くださいますようお願い申し上げます。



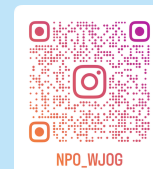
◆WJOGのSNSアカウントのご登録もお願いいたします



Youtube



X(旧Twitter)



Instagram

【お問い合わせ先】 認定特定非営利活動法人 西日本がん研究機構

〒556-0016 大阪府大阪市浪速区元町1-5-7 ナンバプラザビル304



06-6633-7400（平日10時-16時） FAX：06-6633-7405



wjog@wjog.jp ホームページ：https://www.wjog.jp/ ▶

